

(第6条関係)  
事業計画書

事業名	日帰り滞在型観光「“葵の里”観光ガイド(チラシ)の作成」事業
団体名	まつど学びの旅推進協議会

1. どのような地域課題を解決し

たいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

(はじめに)

私たちは、過去3年以上に亘って「観光による松戸の活性化」に関して具体的な『まつど学びの旅ウォーク』という実践活動を定期的に実施しています。その活動を通じて経験した以下の「現状の課題」を問題提起します。

そして、その課題解決の具体的な取り組みが、将来の「観光による松戸の活性化策」に直結する活動になることを考えて、平成26年度の「松戸市市民活動助成事業」に応募致します。

(現状の課題)

(1) 松戸市内に多くある名所・史跡が市内在住の方々も含めて知られていない。

過去3年以上に亘って実施している『まつど学びの旅ウォーク』でのアンケート結果から、初めて来た、知らなかった、松戸を再発見した等々の方々が、松戸市内在住者にも多くいる。ましてや市外在住の方は、殆ど知る機会もないのが現状である。

(2) 市内観光スポットとなり得る場所が点在しているが、それを結ぶルートが整備されていない。

市内の観光スポットといえば、本土寺、矢切の渡し、21世紀の森と広場、戸定邸、東漸寺、八柱霊園等と数多くある。然しながら、それ以外にも多くの神社仏閣や遺跡等があり、それらのスポットに行くルートが整備されていない。

それでも昨年、矢切の渡しに行くバスが毎週末に運行される様になったのは朗報である。

(3) 市役所や各種団体がそれぞれ独自の市内ガイドマップやチラシを作成しているが、利用者のニーズに合っていない。

現在、松戸市の総合観光ガイドマップは、市文化観光課(松戸市観光協会)が作成したものがある。他に教育委員会作成の「松戸市文化財マップ」、都市計画課景観担当室が「水とみどり歴史の回廊マップ」、河川清流課が「江戸川散策マップ」と「親水マップ(松戸市ふれあい親水マップ)」等々がある。

更に、市内の各団体が独自に素晴らし市内ガイドマップを作成している。然しながら、これ

らの資料はそれぞれが独自の立場で作成しているので整合性もなくバラバラであるのが現状である。

他に、インターネットで松戸市の総合観光ガイドを見ると、観光協会の地区別散策マップがある。それは印刷されたマップをそのまま掲載されている。これらのマップを入手するには、インターネットで検索して印刷するか、直接担当部門の窓口に行かなければならない。

2. 事業を行うことでどのようなことを達成したいのか、どのような成果があるのか、成果目標を記載して下さい。(事業を実施した場合に得られる成果目標は、数値を用いて簡潔に記載して下さい。)

現状の課題を解決するために、以下の具体的な成果を実現します。

(成果目標)

松戸市内に多くある名所・史跡を知ってもらう活動(「学びのウォーク」)を定期的  
に開催して、下記の成果を実現します。

- (1) 松戸市への来訪者を増やします。
- (2) 地域商店等の活性化に応援します。
- (3) 実践した「学びのウォーク」のルートは会のホームページでの開と  
実施毎に企画する広報用チラシを活用します。

3. 事業内容を具体的に記載して下さい。

・事業内容

上記、成果目標を実現するために「日帰り滞在型観光「葵の里」観光ガイド(チラシ)の作成」事業を実施します。

この観光ガイド(チラシ)は、代表的なコース(6コース程度)に絞って作成します。

尚、今回作成予定の観光ガイド(チラシ)は、我々が今まで実施した「学びの旅ウォーク」の中から市民の皆さんが独自に散策出来るものを厳選して作成する予定です。

作成された「日帰り滞在型観光「葵の里」観光ガイド(チラシ)」は、市内の支所や市民センター等に配布し、我々のホームページにも掲載する予定です。

・想定されるスケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	過去の活動の整理と纏め	定例の推進協議会
5月		定例の推進協議会
6月		定例の推進協議会
7月	ガイド（チラシ）原案の作成	定例の推進協議会、印刷会社
8月		定例の推進協議会
9月	ガイド（チラシ）詳細案の作成	定例の推進協議会、印刷会社
10月		定例の推進協議会
11月		定例の推進協議会
12月	ガイド（チラシ）印刷・校正	定例の推進協議会、印刷会社
1月	ガイド（チラシ）の配布	定例の推進協議会
2月	助成事業の総括と報告書作成	定例の推進協議会
3月	助成事業活動の報告書提出	定例の推進協議会

4. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

私たちの「観光による松戸の活性化」の活動は、この日帰り滞在型観光「“葵の里”観光ガイド（チラシ）の作成」事業がスタート起点です。

今回の事業で作成された「“葵の里”観光ガイド（チラシ）」は、次年度の『観光ボランティアガイドの育成制度化の教本』の作成資料として使えることを念頭に置いています。

更に、近い将来は松戸市認定の『観光ボランティアガイドの育成講座』の実施を考えています。

上記の事業を実施するには、我々の組織だけでは実現出来ませんので、協働提案として市当局の関係部門と一緒に取り組むことを計画しています。

(第6条関係)

## 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	学びの旅推進協議会拠出金	¥ 37,800	対象事業費の一部を団体の会計より拠出
	寄付金	¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 37,800	
	「まつど学びの旅」講座参加料	¥ 15,000	500円*15人*2回
	事業費収入額 (a②)	¥ 15,000	
	団体より拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 10,000	対象外経費を団体会計より拠出
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 62,800	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 90,000	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 152,800	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	外部講師謝礼 10,000円×2回
	印刷製本費	¥ 90,000	広報チラシの印刷代 2,000部*45円
	消耗品費	¥ 5,000	チラシ作成ワーク 100円*20式 ショップ用(摸造紙等) 50円*60枚
	使用料	¥ 8,000	会場使用料 1,000円*4時間*2回
	賃借料	¥ 0	
	通信費	¥ 4,800	講座案内用(切手代) 80円×60枚
	保険料	¥ 15,000	行事保険料 500円*30人
	対象経費の合計 (D)	¥ 142,800	
その他経費	交通費	¥ 10,000	下見交通費 1000円*5人*2回
	その他経費の合計 (E) = (a③)	¥ 10,000	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 152,800	

### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。